

2020 年度

介護職員初任者研修カリキュラム及び日程表

医療法人洗心会

研修期間：2020年5月9日～8月4日

項目	通学日時 (時間)	テキスト	実施場所 人数等	担当講師		実施内容及び実施方法
				[番号]氏名	要件	
1. 職務の理解 第1巻						
(1) 介護と介護職員初任者 研修について (2) 多様なサービスの理解	5月9日 9:00～ 11:00 (2時間)	p1～ p6	在宅総合 センター 30名	[89] 松元美保子	エ	・はじめに ・介護職員初任者研修について ・介護保険サービスと介護保険外サービスについて 介護保険サービス 介護保険外サービス
(3) 介護職の仕事内容や働く 現場の理解	5月9日 11:00～ 15:00 (3時間) 5月9日 15:00～ 16:00 (1時間) (4時間)	p7～ p11	在宅総合 センター 30名	[89] 松元美保子 [32] 前畑 真美	エ エ	・介護の職場とケアプランサービス提供の流れ 多様な現場におけるそれぞれの仕事内容 ケアプランとサービス提供の流れ
小 計	6時間					
2. 介護における尊厳の保持・自立支援						
(1) 人権と尊厳を支える介護	5月16日 9:00～ 12:00 (3時間) 5月16日 13:00～ 16:00 (3時間) (6時間)	p13～ p36	在宅総合 センター 30名	[27] 他力 淑子 [28] 西原久美子	ウ ウ	・人権と尊厳の保持 ・ICF ・QOL ・ノーマライゼーション ・虐待防止、身体拘束禁止 ・個人の権利を守る制度の概要
(2) 自立に向けた介護	5月12日 18:30～ 20:30 (2時間) 5月14日 18:30～ 19:30 (1時間) (3時間)	p37～ p54	在宅総合 センター 30名	[30] 廣池 節朗	ア	・自立支援 自立支援の視点 自立支援の三段階 生活不活発病(廃用症候群)の防止と残存能力の 活用、過剰介護の防止 意欲を高める支援(動機と欲求) ・介護予防 介護予防の定義と目指すもの 介護予防の考え方
小 計	9時間					

項目	通学日時 (時間)	テキスト	実施場所 人数等	担当講師		実施内容及び実施方法
				[番号]氏名	要件	
3. 介護の基本 第1巻						
(1) 介護職の役割専門性と多 職種との連携	5月14日 19:30～ 20:30 (1時間)	p55～ p60	在宅総合 センター 30名	[18] 宇野 信恵	ア	・介護環境の特徴の理解 これからの介護環境 訪問介護と施設介護の違い 地域包括ケアについて
	5月19日 18:30～ 19:30 (1時間)					
	(2時間)					
(2) 介護職の職業倫理	5月19日 19:30～ 20:30 (1時間)	p61～ p63	在宅総合 センター 30名	[9] 三小田清子	ア	・職業倫理、介護福祉士制度について 専門職の倫理の意義、介護の倫理、介護職としての社会的責任 介護福祉士制度 プライバシーの保護、尊重
(3) 介護における安全の確保と リスクマネジメント	5月21日 18:30～ 20:30 (2時間)	p64～ p75	在宅総合 センター 30名	[85] 稲田みどり	ア	・介護における安全の確保 事故に結びつく要因を探り対応していく技術 「ハザードとリスク」 安全の確保 ・事故予防、安全対策
	5月26日 18:30～ 19:30 (1時間)					
	(3時間)					
(4) 介護職の安全	5月26日 19:30～ 20:30 (1時間)	p76～ p85	在宅総合 センター 30名	[54] 藤木 偉也	ア	・介護職の安全管理、健康管理 介護職の健康管理と介護の質 感染症予防・対策(手洗い・うがい) ストレスマネジメント 腰痛予防
小計	7時間					
4. 介護・福祉サービスの理解と医療との連携						
(1) 介護保険制度	5月28日 18:30～ 20:30 (2時間)	p87～ p105	在宅総合 センター 30名	[61] 宗 禎信	エ	・介護保険制度創設の背景、目的および動向 制度の背景・目的・動向 ケアマネジメント 介護予防重視型システムへの転換及び地域包括 ・仕組みの基礎的理解 ・制度を支える財源、組織・団体の機能と役割 財源負担・介護サービス事業者の指定指導と監査

項目	通学日時 (時間)	テキスト	実施場所 人数等	担当講師		実施内容及び実施方法
				[番号]氏名	要件	
(2) 医療との連携とリハビリ テーション	5月23日 13:00～ 14:00 (1時間)	p106～ p121	在宅総合 センター 30名	[87] 田口 健悟	カ	・医療との連携 医行為と介護 介護職員等による痰の吸引などの実施のための 制度について 訪問看護、施設における看護と介護の役割・連携 リハビリテーションの理念 リハビリの視点 リハビリの基本知識
	5月23日 14:00～ 17:00 (3時間)			[27] 他力 淑子	ウ	
						(4時間)
(3) 障害者自立支援制度 およびその他制度	5月23日 9:00～ 12:00 (3時間)	p122～ p126	在宅総合 センター 30名	[67] 平山 徹	サ	・障害者福祉制度の理念 障害の概念、種類、ICF ・障害者自立支援制度の仕組みの基礎的理解 ・個人の権利を守る制度の概要
						(3時間)
小 計						9時間

5. 介護におけるコミュニケーション技術

(1) 介護におけるコミュニケ ーション	5月30日 13:00～ 15:00 (2時間)	p129～ p143	在宅総合 センター 30名	[59] 菊川ゆかり	ア	・介護におけるコミュニケーションの意義、目的、 役割 相手のコミュニケーション能力に対する理解や 配慮・傾聴と共感 ・コミュニケーションの技法 コミュニケーションの種類(バーバル他) ・利用者・家族とのコミュニケーションの実際 利用者とのコミュニケーション ・利用者の状況、状態に応じたコミュニケーション
	5月30日 15:00～ 17:00 (2時間)			[18] 宇野 信恵	ア	
						(4時間)
(2) 介護におけるチームの コミュニケーション	6月2日 18:30～ 20:30 (2時間)	p144～ p155	在宅総合 センター 30名	[7] 吉野 聡子	ア	・記録における情報の共有化 介護における記録の意義、目的、利用者の状態を 踏まえた観察と記録 介護に関する記録の種類、ポイント ・報告 ・コミュニケーションのを促す環境 会議についてまたケースカンファレンスの重要性
						(2時間)
小 計						6時間

6. 老化の理解

第2巻

(1) 老化に伴うこころと からだの変化と日常	5月30日 9:00～ 12:00 (3時間)	p157～ p161	在宅総合 センター 30名	[67] 平山 徹	サ	・老年期の発達と老化に伴う心身の変化の特徴 ・老化に伴う心身の機能の変化と日常生活への 影響 ・精神機能の変化と日常生活への影響

項目	通学日時 (時間)	テキスト	実施場所 人数等	担当講師		実施内容及び実施方法
				[番号]氏名	要件	
(2) 高齢者と健康	6月6日 9:00～ 12:00	p162～ p182	在宅総合 センター 30名	[2] 東 博治	オ	・高齢者の疾病と生活上の留意点 骨粗鬆症と骨折、筋力の低下と動き・姿勢の変化 ・高齢者に多い病気とその日常生活上の留意点 虚血性心疾患、老年期うつ病症状、誤嚥性肺炎 感染症、脳卒中、パーキンソン病、変形性関節症 関節リウマチ、認知症
	(3時間)					
小 計	(6時間)					
7. 認知症の理解						
(1) 認知症を取り巻く状況	6月4日 18:30～ 20:30	p183～ p188	在宅総合 センター 30名	[83] 古林 美香	ウ	・認知症ケアの理念 大切な一人としてかかわる それぞれの面に注意を払った対応 パーソン・センタード・ケア 認知症ケアの理念・視点
	(2時間)					
(2) 医学的側面から見た認知 症の基礎と健康管理	6月6日 13:00～ 15:00	p189～ p204	在宅総合 センター 30名	[80] 野崎 信治	ウ	・認知症の概念、認知症の原因疾患とその病態、 原因疾患別ケアのポイント、健康管理 認知症の定義 原因疾患と病態、疾患別ケアのポイント 認知症と似た症状を示す現象や疾患、治療
	(2時間)					
(3) 認知症に伴うところから だの変化と日常生活	6月6日 15:00～ 17:00	p205～ p222	在宅総合 センター 30名	[79] 北野 祐介	ウ	・認知症の人の生活障害、心理、行動の特徴 認知症の中核症状、行動・心理状況(BPSD) P A C E P (パセップ)の視点 不適切なケア ・認知症の利用者への対応 認知症の進行に合わせたケア
	(2時間)					
(4) 家族への支援	6月9日 18:30～ 20:30	p223～ p228	在宅総合 センター 30名	[44] 江口 明希	シ	・家族支援と介護の受容過程 家族支援の視点 認知症の受容過程での援助 介護負担の軽減(レスパイトケア)
	(2時間)					
小 計	8時間					
8. 障害の理解						
(1) 障害の基礎的理解	6月11日 18:30～ 19:00	p229～ p231	在宅総合 センター 30名	[43] 松隈 幸雄	サ	・障害の概念・ICFの分類と医学的分類 ICFの考え方 ・障害者福祉の基本理念 ノーマライゼーションの概念
	(0.5時間)					
(2) 障害の医学的側面生活障 害、心理、行動の特徴、かか わり支援等の基礎的知識	6月11日 19:00～ 20:30	p232～ p243	在宅総合 センター 30名	[78] 鹿川 優	ウ	・身体障害 ・知的障害 ・精神障害 ・その他の心身の機能障害
	(1.5時間)					
(3) 家族の心理かかわり支援 の理解	6月13日 9:00～ 10:00	p244～ p245	在宅総合 センター 30名	[45] 猿渡 綾子	ス	・家族の心理、家族への支援 障害の理解・介護負担軽減 障害の受容過程 家族支援の視点
	(1時間)					
小 計	3時間					

項目	通学日時 (時間)	テキスト	実施場所 人数等	担当講師		実施内容及び実施方法
				[番号]氏名	要件	

9. こころとからだのしくみと生活支援技術

I 基本知識の学習

(1) 介護の基本的な考え方	6月13日 10:00～ 13:00 (3時間)	p1～ p72	在宅総合 センター 30名	[19] 上杉喜代美	ア	・介護の基本視点 倫理と理論に基づく介護と法的根拠に基づく介護 (8つの視点) 自立支援、マズローの欲求段階説 5つの(社会、生活、環境、目、間)介助の5要項
(2) 介護に関するこころの しくみの基礎的理解	6月13日 14:00～ 17:00 (3時間)	p73～ p75	在宅総合 センター 30名	[7] 吉野 聡子	ア	・こころに関する基礎知識 学習と記憶の基礎知識 学習とは、記憶の種類、記憶とケア、 感情と意欲の基礎知識 自己概念と生きがい 老化や障害を受け入れる適応行動とその要因 こころの持ち方・からだの状態が与える影響
(3) 介護に関するからだの しくみの基礎的理解	6月16日 18:30～ 20:30 (2時間)	p76～ p102	在宅総合 センター 30名	[39] 松浦 篤子	キ	・からだに関する基礎知識 人体の各部の名称と動きに関する基礎知識 骨・関節・筋に関する基礎知識、 ボディメカニクスについての活用 中枢神経と抹消神経に関する基礎知識 内部器官
	6月18日 18:30～ 20:30 (2時間)			[64] 大淵 伸也	キ	
	6月23日 18:30～ 20:30 (2時間)					
小計	12時間					

II 生活支援技術の講義・演習

(4) 生活と家事	6月25日 18:30～ 20:30 (2時間)	p103～ p105	在宅総合 センター 30名	[18] 宇野 信恵	ア	・家事と生活の理解、生活支援 生活歴・自立支援・予防的な対応・主体性と能動 性を引き出す 多様な生活習慣と価値観
(5) 快適な居住環境整備と 介護	6月30日 18:30～ 20:30 (2時間)	p106～ p111	在宅総合 センター 30名	[40] 浦川 悦子	キ	・快適な居住環境に関する留意点と支援方法 家庭内に多い事故・バリアフリー・ バリアフリー 住宅改修 福祉用具貸与 ・ADL・IADL・QOLとその評価
(6) ADL・IADL・ QOLとその評価						

項目	通学日時 (時間)	テキスト	実施場所 人数等	担当講師		実施内容及び実施方法
				[番号]氏名	要件	
(7) 整容に関連したところと からだのしくみと自立に 向けた介護	6月20日 9:00～ 16:00	p112～ p118	在宅総合 センター 30名	[12] 葉野由紀子 [86] 小田多恵子	ア	・整容に関する基礎知識・支援技術 整容行動・洗面の意義・効果 身体状況に合わせた衣服の選択、着脱(身じたく) 整容に関連した福祉用具・自助具
	(6時間)					
(8) 移動・移乗に関連したこ ころとからだのしくみと 自立に向けた介護	6月27日 9:00～ 11:00 (2時間)	p119～ p160	在宅総合 センター 30名	[88] 川口 達也	キ	・移動・移乗に関する基礎知識 臥位から端座位(寝返りから起座) 座位 起立 移乗 車イスと車イス移動 歩行 褥瘡と褥瘡予防
	6月27日 11:00～ 13:00 (2時間)			[49] 門川 誠也	カ	
	6月27日 14:00～ 17:00 (3時間)			[36] 星原 淳 [37] 外尾 竜二	カ キ	
	(7時間)					
(9) 食事に関連したところと からだのしくみと自立に 向けた介護	7月4日 9:00～ 10:00 (1時間)	p161～ p180	在宅総合 センター 30名	[42] 平田 由香	ク	・食事に関する基礎知識 食事の意義・目的 食事のケアに対する介護者の意識 低栄養の弊害 脱水症の弊害 食事と姿勢 咀嚼・嚥下メカニズム 食事の環境整備 食事に関した福祉用具の活用と介助方法 食事動作の姿勢変化 口腔ケアの定義
	7月2日 18:30～ 20:30 (2時間)		在宅総合 センター 30名	[55] 黒肥地幸江	ア	
	7月7日 18:30～ 20:30 (2時間)		在宅総合 センター 30名	[14] 浦川 太 [55] 黒肥地幸江	ア	
	7月4日 10:00～ 12:00 (2時間)		在宅総合 センター 30名	[55] 黒肥地幸江	ア	
	(7時間)					

項目	通学日時 (時間)	テキスト	実施場所 人数等	担当講師		実施内容及び実施方法
				[番号]氏名	要件	
(10) 入浴、清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	7月9日 18:30～20:30 (2時間)	p181～ p205	在宅総合センター 30名	[14] 浦川 太 [15] 島村 友之	ア	<ul style="list-style-type: none"> 入浴、清潔保持に関する基礎知識 入浴の意義・目的 入浴介助での基本 身体の清潔介護 全身清拭・清拭の手順・陰部清浄 目・鼻・耳・爪のケア・足浴・洗髪 更衣動作 前開きのシャツ脱着(右・左麻痺の場合) 丸首シャツの脱着(右・左麻痺の場合) ズボンの脱着(右・左麻痺の場合) 靴の脱ぎおきの動作(右麻痺の場合) 入浴動作 浴槽への出入り(右・左麻痺の場合) 片麻痺の方の入浴介助の注意点
	7月14日 18:30～20:30 (2時間)			[15] 島村 友之 [14] 浦川 太	ア	
	7月4日 13:00～14:00 (1時間)			[15] 島村 友之	ア	
	7月4日 14:00～17:00 (3時間)			[59] 菊川ゆかり	ア	
	(8時間)					
(11) 排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	7月16日 18:30～20:30 (2時間)	p206～ p218	在宅総合センター 30名	[21] 岩井さとみ	ウ	<ul style="list-style-type: none"> 排泄に関する基礎知識 排泄ケアを受けることで生じる心理的な負担 尊厳や生きる意欲との関連 プライド・羞恥心・心理的負担・尊厳や生きる意欲との関連 排泄とは・排泄の意味・排泄障害が日常生活に及ぼす影響・おむつ使用の弊害 自立支援の視点 個別差・排泄ケアでの一般的注意と工夫 便秘に対するケア 環境設定と福祉用具・自助具などの活用 排泄介助 陰部洗浄・おむつについて・片麻痺の方の移乗
	7月11日 9:00～12:00 (3時間)			[81] 宮園 恵 [82] 西田梨香	ア	
	7月11日 13:00～16:00 (3時間)			[59] 菊川ゆかり	ア	
	(8時間)					
(12) 睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	7月21日 18:30～20:30 (2時間)	p219～ p227	在宅総合センター 30名	[77] 石本 輝彦	ウ	<ul style="list-style-type: none"> 睡眠に関する基礎知識 睡眠の意義・目的 眠りたくないとき 意義・目的の効果を高める工夫 睡眠障害について 睡眠薬について 個別差 一般的注意と工夫 夜間頻尿の予防 安眠のための介護の工夫・環境整備 安眠ケアの工夫
	7月18日 9:00～12:00 (3時間)			[83] 古林 美香	ウ	
	7月25日 9:00～11:00 (2時間)			[62] 前田 玲子 [77] 石本 輝彦	ウ	
	(7時間)					

項目	通学日時 (時間)	テキスト	実施場所 人数等	担当講師		実施内容及び実施方法
				[番号]氏名	要件	
(13) 死にゆく人に関連したこ ころとからだのしくみと 終末期介護	7月18日 13:00～ 17:00	p228～ p242	在宅総合 センター 30名	[28] 西原久美子	ウ	・終末期ケア(ターミナルケア) 終末期ケア(ターミナルケア)とは 死に至る過程 高齢者の死に至る過程 臨終が近づいたときの徴候と介護 ターミナルケアのポイント 介護従事者の基本的態度 多職種間情報共有の必要性・エンゼルケア 介護現場のターミナルケア(事例)
	(4時間)					
小計	51時間					
実習オリエンテーション 介護実習の目的、日時、場所、実施方法、留意点の確認						
Ⅲ生活支援技術の講義・演習						
(14) 介護過程の基礎的理解	7月25日 11:00～ 18:00 (6時間)	p243～ p245	在宅総合 センター 30名	[19] 上杉喜代美	ア	・介護過程の目的、意義、展開 ・介護過程とチームアプローチ アセスメント 計画 実践 評価 ・チームアプローチ 事例をもとに実際に考えてみる
	(6時間)					
(15) 総合生活支援技術演習	7月28日 18:30～ 20:30 (2時間)	p2546～ p268	在宅総合 センター 30名	[58] 副島 沙織	ア	・総合生活支援技術について 生活の各場面での介護について、ある状態像の利用者を想定し、一連の生活支援を提供する。流れの理解と技術の習得、利用者の心身の状態に合わせた介護を提供する視点の習得を目指す。 ・事例の提示→こころとからだの力が発揮できない要因の分析→適切な支援技術の検討。支援技術演習→支援技術の課題(1事例について1.5時間～2時間程度) ・事例は高齢(要支援2程度、認知症、片麻痺座位保持不可)から2事例を選択して実施する。
	7月30日 18:30～ 20:30 (2時間)					
	8月1日 9:00～ 11:00 (2時間)					
	(6時間)					
小計	12時間					

項目	通学日時 (時間)	テキスト	実施場所 人数等	担当講師		実施内容及び実施方法
				[番号]氏名	要件	
10. 振り返り						
(1) 振り返り	8月1日 11:00～ 13:00	p269～ p271	在宅総合 センター 30名	[19] 上杉喜代美	ア	・研修を通して学んだこと ・今後継続して学ぶこと ・根拠に基づく介護についての要点～利用者 の状態像に応じた介護と介護過程、 身体、心理社会面を総合的に理解する ための知識の重要性等。 ※個人による振り返りグループによる振り返り
	(2時間)					
(2) 就業への備えと研修終了 後における継続的な研修	8月1日 14:00～ 16:00	p271～ p293	在宅総合 センター 30名	[30] 廣池 節朗	ア	・継続的な研修について 勉強・学習・研修の意味 現場での研修・研鑽 キャリアパス・キャリアパス一覧表 法人内研修 (off-JT、OJT・外部研修) の紹介 (チェック項目・評価基準表)
小計	2時間					
合計	4時間					
総合計	133時間					

修了評価						
項目		通信 相当分	実施場所 人数等	担当講師		実施内容及び実施方法
				[番号]氏名	要件	
修了評価	8月4日 18:30～ 20:30		在宅総合 センター 30名	[19] 上杉喜代美 [30] 廣池 節朗	ア	・全てのカリキュラムを修了した者に対して 「修了評価試験」(筆記試験:全問正解100点満 点) を実施する。 評価試験は択一形式と記述式形式により構成する この「修了評価試験(筆記)」の難易度について は、指針における各科目の「修了時の評価ポイン ト」を理解できるレベルとし、全体に対する7割 以上の正答を合格基準とする。 合格基準に達しない場合は、再試験を行う。
修了式	8月6日 18:30～					

項目
<p>【介護実習】</p> <p>注1 「項目」欄には、各科目を細分化した項目名又はその読み替えにより事業者毎に定める項目名を記載する項目数が多く、欄が足りないときは、適宜追加して記載する。</p> <p>注2 講義を通信の方法で行う場合、「通信相当分」欄に、通信で学習する内容に相当する講義時間数(科目毎に別紙4に定める時間数を上限とする)を記載する。</p> <p>注3 担当講師の「番号」及び「要件」欄には、講師一覧表(別紙様式5)に記載した「番号」及び「講師要件」を転記する。</p> <p>注4 「実施内容及び実施方法」欄には、講義及び演習の具体的進め方や時間、実習を行う場合は実習の内容や、時間方法等記載する。欄内に記載できない場合は、適宜欄を追加し、本様式に準じた様式で記入する。</p> <p>注5 記入欄が不足する場合は、適宜欄を追加し、本様式に準じた様式で記入する。</p>